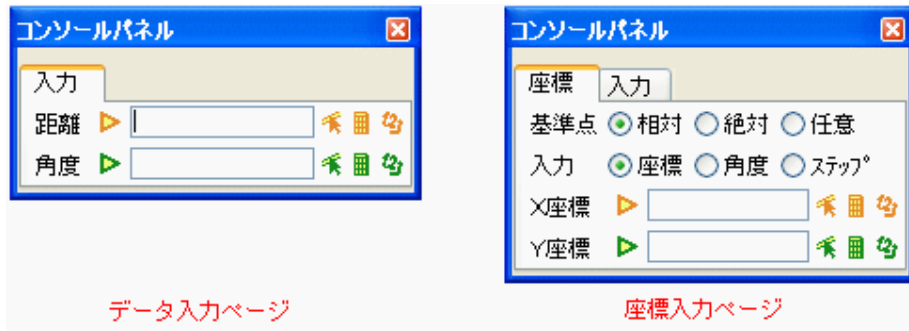


コンソールパネル

コマンドの操作時における数多くのパラメータの入力項目を一箇所に集めたものがコンソールパネルです。コンソールパネルには、データ入力ページと座標入力ページが表示されます。

データ入力ページは、作図画面上で右クリックし、ポップアップメニューから「データ入力...(D)」を選択するか、または、キーボードの数値キーを押すことで、表示されます。

座標入力ページは、作図画面上で右クリックし、ポップアップメニューから「座標入力...(P)」「ステップ入力...(O)」を選択するか、または、キーボードのTABキーを押すことで、表示されます。



コンソールパネルの振る舞い

コンソールパネルの表示は、フローティング状態、ドッキング状態、オートハイド状態の3通りの表示状態があります。

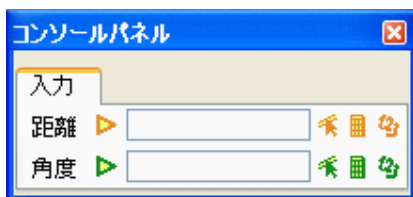
フローティング状態、または、ドッキング状態では、コンソールパネルのタイトルを左ボタンでドラックすると、コンソールパネルウィンドウを移動させることができます。

通常、フォーカスは作図画面にありますが、キーボードから数値入力し、コンソールパネルを表示すると、自動的にコンソールパネルにフォーカスされます。

フローティング状態

フローティング状態では、コンソールパネルが出来るだけ図面を隠さないようにする為、ユーザのアクションにより自動的に表示・非表示されます。

また、コマンド操作時のオペレーションによって、データ入力が必要な場合は、自動的に表示されます。




●フローティング状態で、コンソールパネルをフレームウィンドウの左辺、または、右辺まで左クリックでドラッグすると、フレームにドッキングすることができます。

ドッキング状態

ドッキング状態では、コンソールパネルは常に表示されます。

ドッキング可能な領域は、フレームウィンドウの左辺、または、右辺です。




- ドッキング状態のコンソールパネルを作画画面上にドラッグすると、フローティング状態になります。
- ドッキング状態で、左上の  ボタンを押すと、オートハイド状態になります。

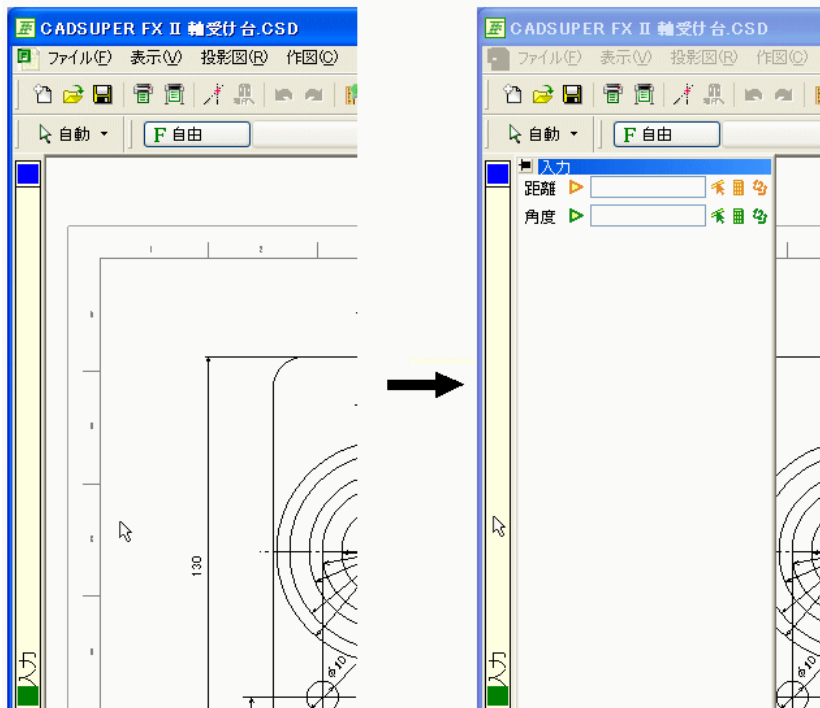
オートハイド状態

オートハイド状態では、通常、コンソールパネルは隠された状態になっています。

「 入力」の上にマウスカーソルを置くと、データ入力ページが表示され、

「 座標」の上にマウスカーソルを置くと、座標入力ページが表示されます。

また、コマンド操作時のオペレーションによって、データ入力が必要な場合は、自動的に表示されます。



- オートハイド状態で、左上の  ボタンを押すと、ドッキング状態になります。